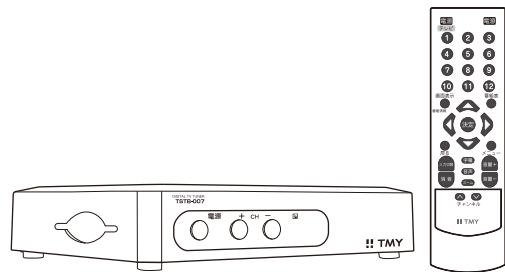


TSTB-007

地上デジタルチューナー

取扱説明書



△注意

本製品をご使用になる前に必ず本取扱説明書をお読みください。
また、いつでも取り出して読めるように大切に保管してください。

TMY
株式会社 ティー・エム・ワイ

目次

製品の紹介

製品の特徴
使用上のご注意
パッケージの内容

使用前の準備

1. 本体の説明
2. 電源を接続する
3. アンテナと接続する
4. テレビと接続する
5. B-CAS カードを挿入する
6. リモコンの電池を入れる

リモコンの説明

1. ボタンの説明
2. リモコンでテレビメーカーを設定する

操作方法の説明

1. メニュー画面説明
 - ① 受信設定
 - ② 機器設定
 - ③ 各種情報表示
 - ④ テスト
2. B-CAS カードについて

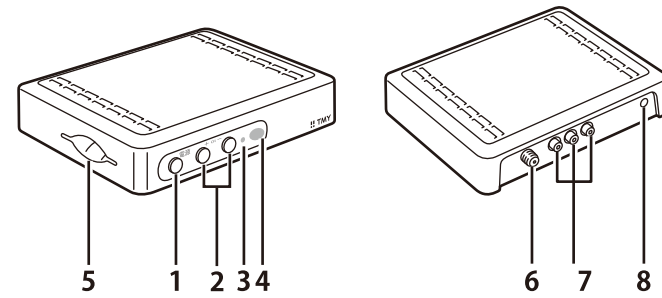
製品の仕様

本体
リモコン部分

注意事項

使用前の準備

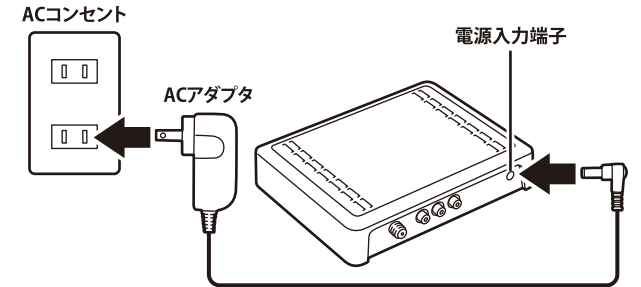
1 本体の説明



No.	名称	機能
1	電源ボタン	電源をオン/オフします。
2	チャンネルボタン	チャンネルのアップ・ダウンをします。 登録されているチャンネルを順番の表示します。
3	電源ランプ	電源が入っている時はランプが緑に点灯します。 電源が入っていない時はランプが赤く点灯します。
4	リモコン受信部	リモコンはここに向けて操作してください。
5	B-CASカードスロット	付属のB-CASカードを挿入するスロットです。
6	アンテナ入力端子	地上波デジタルアンテナとケーブルで接続します。
7	出力端子 (映像+音声)	付属のAVケーブルでテレビと接続します。 赤:音声出力(R) 白:音声出力(L) 黄:映像出力
8	電源入力端子	付属のアダプタを接続してください。

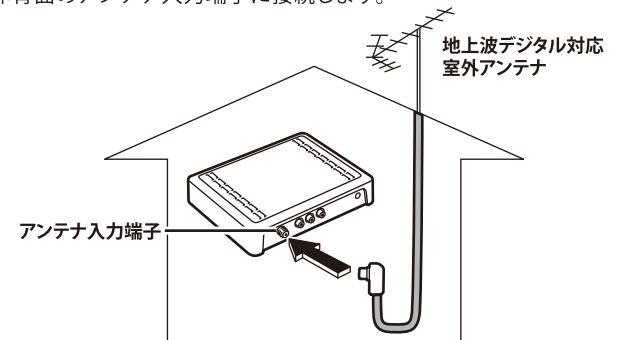
2 電源を接続する

1. 本製品付属のACアダプターを電源入力端子に接続します。
2. ACアダプターをコンセントに差し込みます。



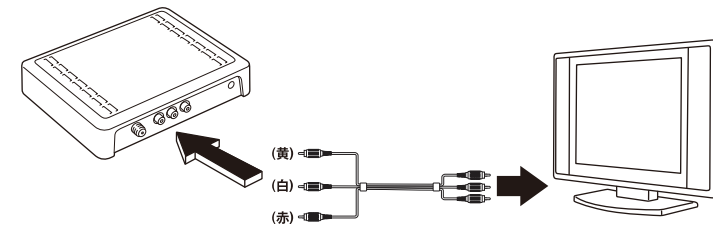
3 アンテナと接続する

1. 壁側のアンテナ端子に市販のアンテナケーブルを接続します。
(現在、テレビで接続しているアンテナケーブルを使うこともできます。)
2. 本体背面のアンテナ入力端子に接続します。



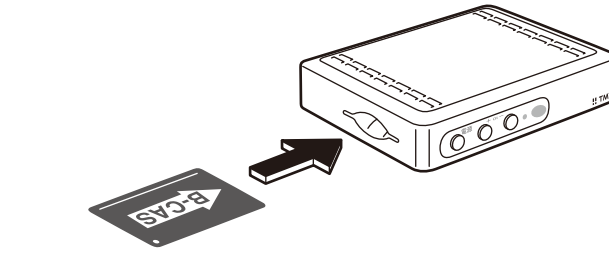
4 テレビと接続する

付属のAVケーブルで、本製品とテレビを接続します。
それぞれ対応した色(黄、白、赤)のコネクタと接続してください。



5 B-CASカードを挿入する

付属のB-CASカードを下図の向きでB-CASカードスロットに差し込みます。
きちんと止まるまで押し込んでください。



△注意

B-CASカードを挿入しないと、地上デジタル映像は視聴できません。

6 リモコンの電池を入れる

1. リモコンの電池カバーを開けます。
2. 単4形乾電池2本を入れます。
(電池のプラス/マイナス極をよくご確認し、正しく入れてください。)
3. 電池カバーを元に戻します。



※付属の単4形乾電池について

付属の単4形乾電池はリモコンの動作確認用です。
ご使用の際は、新しい電池を別途ご用意ください。

※リモコン操作について

リモコンは、本体の受光部から左右30°以内の角度、約5～6m以内の
距離で操作してください。

製品の紹介

この度は弊社製品をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。
本製品はアナログテレビに接続することによって、地上波デジタル放送を視聴
できる地上デジタルチューナーです。

製品の特徴

- ARIB 規格に準拠
- ノーマル・ワイド画面表示 & 切り換え機能
- 電子番組ガイド(EPG)に対応
- 字幕放送に対応
- CATV/パススルー方式に対応

ケーブルテレビの放送をご利用の方へ

本製品は、パススルー方式を採用しているケーブルテレビの地上デジタル放送
に対応しています。詳しくは各ケーブルテレビ会社にお問い合わせください。

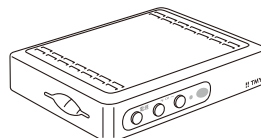
使用上のご注意

- ・この製品を使用できるのは日本国内だけです。国外では放送方式、電源
電圧が異なりますので使用できません。
- ・本製品の仕様は改良および改善のため、予告なく変更になる場合がありま
すので、あらかじめご了承ください。
- ・本書のイラストや、画面表示などは、見やすくするために拡大や簡略化
しており、実際とは多少異なる部分があります。
- ・本製品にはモデム/LAN端子は搭載されていません。そのため双向番組
サービスなど、一部ご利用にならないサービスがあります。

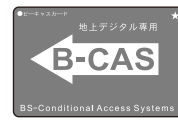
パッケージの内容

本製品をご使用になる前に、以下のものがそろっていることをご確認ください。
不足や破損があった場合は、お買い上げの販売店、または弊社サポートセンター
にご連絡ください。

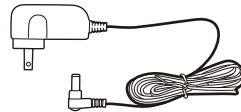
サポートセンター **0570-064-440**
【受付時間】平日 10:00～18:00



本体



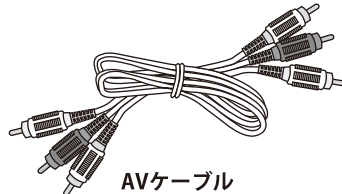
B-CASカード



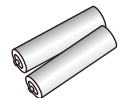
ACアダプター



取扱説明書(本書)



AVケーブル



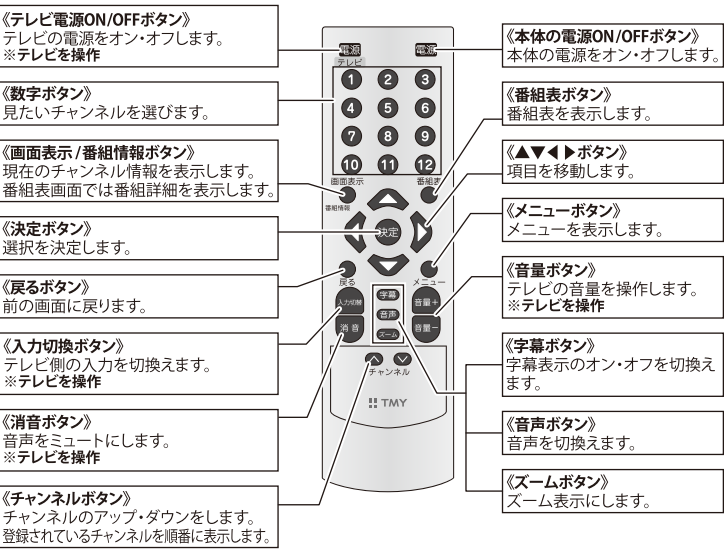
リモコン動作確認用
単4形乾電池 2本



リモコン

リモコンの説明

1 ボタンの説明



＜画面表示/番組情報ボタンについて＞

番組表を表示中に押すと、番組詳細情報を表示します。
それ以外の時に押すと、現在のチャンネル情報を表示します。

＜音声ボタンについて＞

番組視聴中に音声ボタンを押すと、主音声・副音声・主+副を切換えます。
副音声に対応していない番組を視聴中に押すと、番組の音声がステレオ放送か、モノラル放送かを表示します。

＜ズームボタンについて＞

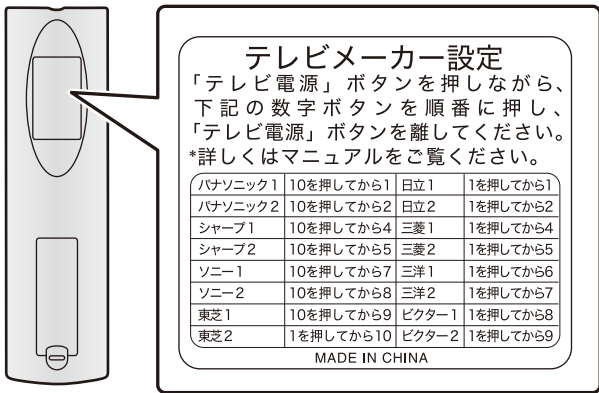
番組視聴中にズームボタンを押す度に、「ノーマル」→「フル」→「ズーム」に切り換えます。但し、画面サイズ設定がワイド設定になっていると、この機能は使用できません。ズーム機能をご使用の場合はノーマル設定にしてください。

2 リモコンでテレビメーカーを設定する

本機のリモコンで、メーカーのテレビを操作できます。
テレビを操作するには、以下の設定を行ってください。

- 1 テレビの電源をオフにします。
- 2 テレビ電源ON/OFFボタンを押したまま、各メーカーの番号を押します。
各メーカーの番号はリモコンの裏面に表示されています。

例：パナソニック＝1
テレビ電源ボタンを押しながら、番号の10→1の順に押す。



※本製品のリモコンで、テレビの「電源ON/OFF」、「入力切換」、「音量調節」、「消音」の操作ができます。
機種によっては動作しない場合があります。

△ 注意

リモコンの電池をはずすと、設定は初期状態に戻ります。

対応するテレビメーカー

パナソニック、シャープ、ソニー、東芝、日立、三菱電機、三洋電機、ビクター

操作方法の説明

1 メニュー画面説明

本製品を初めて使用するときは、チャンネルスキャンが必要です。
チャンネルスキャンをする前には、「受信レベルが低下しました。アンテナ線を確認してください」と画面に表示されますが、チャンネルスキャンをすると、表示されなくなります。

1 受信設定

本製品を使用する前に、必ず「地域設定」と「チャンネル自動設定」をしてください。

1. リモコンの「メニュー」ボタンを押すと機能メニューが表示されます。「◀▶」を押して「受信設定」を選んでください。
2. 「▲▼」を押してメニューの中から確認したい項目を選び、決定ボタンで選択します。

＜地域設定＞

ご使用になる地域を設定します。

1. お住まいのエリア(北海道、東北、関東など)を選択します。
2. 次に詳細な地域(東京、埼玉等)を選択します。

＜チャンネル自動設定＞

チャンネルスキャンをします。
「全チャンネルスキャン」と「UHFスキャン」が選択できます。
通常は「全チャンネルスキャン」を選択してください。
UHFアンテナのみ接続しているときは、「UHFスキャン」でも問題ありません。
スキャンは初回起動時に1度行えば2度目以降は必要ありません。

＜チャンネル追加設定＞

「チャンネル自動設定」を行った後に、追加でチャンネルスキャンを行うときに使用します。
「チャンネル追加設定」を行うと、追加できるチャンネルがあるときに、元のリストに追加されます。スキャンの状況によってはチャンネル設定が変更になることがあります。

＜リモコン設定＞

リモコンのチャンネル番号を変更するときに使用します。

＜チャンネルスキップ＞

受信可能なチャンネルリストの中で、視聴しないチャンネルを受信リストから削除するときに使用します。

1. 削除したいチャンネルを「▲▼」で選択します。
2. 次に決定ボタンを押します。

＜受信レベル＞

受信可能なチャンネルの受信レベルを表示できます。
確認したいチャンネルを「▲▼」で選択し、決定ボタンを押します。
※表示される受信レベルは参考の値です。

2 機器設定

「暗証番号」「字幕・文字スーパー」「音声切換」「番組表取得設定」「画面サイズ設定」の設定変更ができます。

1. リモコンの「メニュー」ボタンを押すと機能メニューが表示されます。「◀▶」を押して「機器設定」を選んでください。
2. 「▲▼」を押してメニューの中から確認したい項目を選び、決定ボタンで選択します。

＜暗証番号＞

本体に設定されている暗証番号を変更できます。
変更後の暗証番号は、忘れないようにメモをしてください。
※暗証番号の初期設定は「9999」です。

＜字幕・文字スーパー＞

字幕や文字スーパーの設定を変更できます。
「なし」「第1言語」「第2言語」の3つから選べます。
※視聴している番組が字幕に対応していない場合には表示されません。

＜音声切換＞

音声を「主音声」「副音声」「主+副」から選択できます。
※視聴している番組が副音声に対応していない場合には、切り替わりません。

＜番組表取得設定＞

番組表を取得するか、しないか設定できます。
※番組表を取得する場合、時間がかかる場合があります。

＜画面サイズ設定＞

画面サイズを「ノーマル」、「ワイド」から選択できます。

3 各種情報表示

解像度や明るさ、「B-CAS情報」「バージョン情報」「放送メール」の内容を確認できます。

1. リモコンの「メニュー」ボタンを押すと機能メニューが表示されます。「◀▶」を押して「各種情報表示」を選びます。
2. 「各種情報メニュー」を表示し、「▲▼」を押して「B-CAS情報」「バージョン情報」「放送メール」の中から項目を選び、決定ボタンで選択します。

＜B-CAS情報＞

挿入されているB-CASカードの情報を表示します。

＜バージョン情報＞

本体のファームウェアのバージョンを確認できます。

＜放送メール＞

放送メールを表示します。

4 テスト

「B-CASカードのテスト」と「全設定消去」ができます。

1. リモコンの「メニュー」ボタンを押すと、機能メニューが表示されます。「◀▶」を押して「テスト」を選んでください。
2. 「▲▼」を押して「B-CASテスト」または「全設定消去」を選び、「決定」ボタンを押します。

＜B-CASテスト＞

挿入されているB-CASカードに問題がないか、テストします。

＜全設定消去＞

有効にしている設定を消去し、工場出荷時の状態に戻します。
「全設定消去」を行うには、暗証番号の入力が必要です。
※暗証番号の初期設定は「9999」です。

2 B-CASカードについて

本製品はB-CASカードを挿入して使用します。
B-CASカードのエラーメッセージが表示されたときには、以下を確認してください。

- ・カードは正しく挿入されていますか？
矢印の面を上にして、矢印の方向に差し込んでください。
- ・カードスロットにホコリがたまっていますか？
市販のエアダスターなどを使用して、B-CASカードスロットを清掃してください。
- ・B-CASカードでないカードを挿入されていませんか？
B-CASカードを挿入してください。

△ 注意

本製品に付属しているB-CASカードは、お客様の責任でお取り扱いください。
万が一破損や紛失した場合、下記までご連絡ください。

株式会社ビーエス・コンディショナル・アクセスシステムズ・カスタマーセンター
電 話：0570-000-250
I P 電 話：045-680-2868
受付時間：AM10:00～PM8:00

製品の仕様

本 体

商品名		デジタルチューナー
品番		TSTB-007
JANコード		4512019 572080
受信方式		地上デジタル放送
地上デジタル放送受信チャンネル		UHF13ch～62ch CATV/バススレー対応(90MHz～770MHz)
アンテナ入力		F型コネクター
出力端子	映像	コンボジット映像端子(RCAピン端子)
	音声	ステレオ音声端子(RCAピン端子)
電源		AC100V 50/60Hz DC5V
消費電力		4.7W (スタンバイ時:0.4W)
本体サイズ／重量		約 163 (W) × 130 (D) × 32 (H) mm ／ 約 270g
動作環境		温度 0～40℃ 湿度 10～80% (結露無きこと)
電子番組表		3 日分
付属品		B-CASカード、リモコン、単4形乾電池 2 本、AVケーブル、ACアダプター、取扱説明書、保証書

リモコン部分

使用電源	単4形乾電池(2本)
外形寸法	177mm×47.5mm×21.5mm
質量	50g(乾電池除く)

注意事項

◆地上デジタル放送について

本製品は地上デジタル放送専用のチューナーです。お使いの地域が地上デジタル放送に対応しているかどうかは、下記までお問い合わせください。

総務省地上デジタルテレビジョン放送受信センター

電 話：0570-07-0101
受付時間：平日・・・9:00～21:00
土、日、祝日・・・9:00～18:00

◆その他

下記の損害や不利益については、弊社は一切その責任を負いかねます。

- ・地震や雷などの自然災害、火災、第三者の行為、お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により生じた損害。
- ・本製品の使用または使用不能から生じる付随的な障害(事業利益の損害、事業の中断、視聴料金の損失など)。
- ・本書の記載事項に従わなかったために発生した、お客様ご自身や他の人の死亡、重傷、傷害、物的損害、危害や財産などの損害。
- ・接続機器との組み合わせによる誤動作などから生じる侵害。

製品のお問い合わせは

株式会社 ティー・エム・ワイ
サポートセンター
【受付時間】平日10:00～18:00
0570-064-440